

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2021/12/13号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



(注) 2021/09/12まではWTI原油価格連動型上場投信のデータ (出所) Refinitivよりマーケットエッジ作成

「オミクロン」への警戒後退で急反発

NY原油先物相場は、1バレル=71ドル台まで急反発した。新型コロナウイルスの変異株「オミクロン」の脅威で12月2日には62.43ドルまで急落して8月23日以来の安値を更新していたが、そこから大きな切り返しを見せている。12月9日高値は73.34ドルに達しており、安値から10ドル超の切り返しを見せている。

「オミクロン」に関しては、ワクチンの有効性を含めて当初は分からないことが多く、マーケットは世界経済に対する深刻なリスクになる可能性を織り込んでいた。しかしその後は、感染力は強いものの、死亡・重症化リスクに関しては著しい高まりはないとの報告が相次いでいる。また製薬会社からは、3回目のワクチン接種 (いわゆるブースター接種) で感染リスクを著しく抑制することも可能との報告が行われている。この結果、「オミクロン」のリスクは当初考えられていた程には深刻ではないとの評価が優勢になり、他リスク資産と同様に原油相場も安値修正の動きが優勢になった。

米エネルギー情報局 (EIA) 発表の米石油在庫 (12月3日時点) は、原油が前週比24万バレル減、ガソリンが388万バレル増、石油精製品が273万バレル増となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項 (ディスクレーム) をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

更に安値修正が進むか、IEA月報とFOMCがイベントリスクに

新型コロナウイルスの変異株「オミクロン」に対する警戒感が後退する中、安値修正の動きが続き易い。70ドル台を大きく割り込むような展開については、オーバーシュート状態との評価が確立しており、75.00ドルの節目突破を意識した展開なろう。投資不足問題が深刻化する中、少なくとも長期にわたって安値に滞留するリスクは限られる。

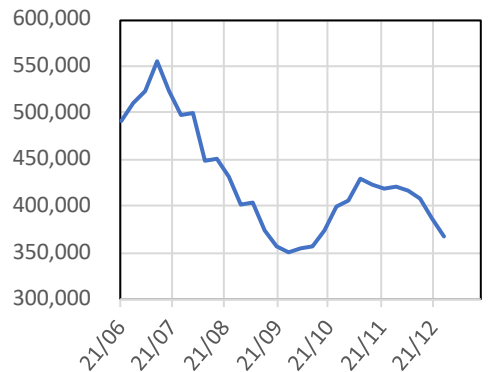
「オミクロン」のリスクについて最終評価には時間が必要だが、改めて原油相場を大きく押し下げようとする必要性は乏しくなっている。世界全体で新型コロナウイルスの新規感染者が増加傾向にあることが上昇余地を限定するが、まだ安値修正の余地を残した価格水準と評価できる。イラクのアブドラジズ石油相が75ドル超に上昇するとの見通しを示していることもポジティブ。

米エネルギー省（DOE）は12月17日に戦略石油備蓄

（SPR）1,800万バレルの売却を予定している。また、新型コロナウイルスの感染状況が原油需要の抑制要因として機能していることに変化は見られない。このため、WTI原油先物市場では、相場が反発する一方で期近限月のプレミアムは剥落する展開になっている。需給ひっ迫評価の織り込みが再開された訳ではなく、あくまでも安値修正の目線に留まっている。期近限月に対するプレミアム加算も再開されると、一段と地合が引き締まろう。

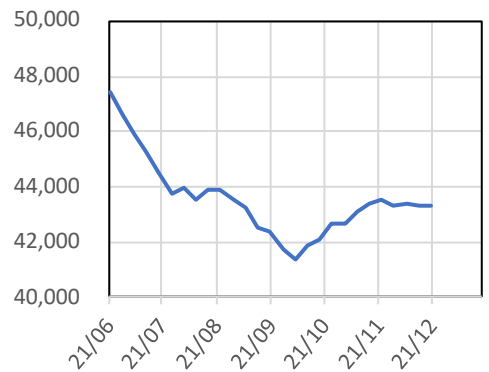
12月13日に石油輸出国機構（OPEC）、14日に国際エネルギー機関（IEA）が、それぞれ今年最後の月報を発表する。どのようなマクロ需給見通しが示されるかに注目したい。また、14～15日の米連邦公開市場委員会（FOMC）後に、ドル高再開がみられると値下がりリスクが高まる。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



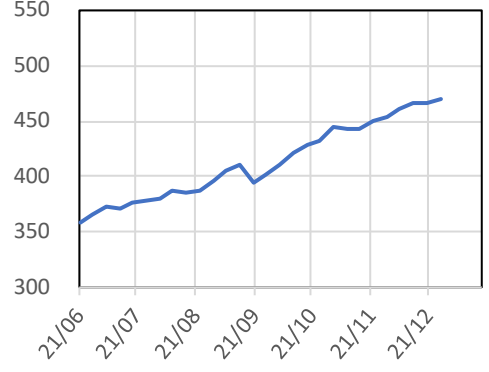
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

【ディスクレーム（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <http://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

